

第 60 回日本心血管インターベンション治療学会  
関東甲信越 CVIT

# 関東甲信越地方会

今あるべき心血管インターベンションのかたち



会 期 2022年10月14日(金)・15日(土)

会 場 大手町サンケイプラザ

会 長 小川 崇之 (東京慈恵会医科大学附属病院 循環器内科)

参加費

|        | 2日間共通   | 15日(土)のみ |
|--------|---------|----------|
| 会 員    | 12,000円 | 6,000円   |
| 非 会 員  | 14,000円 | 7,000円   |
| コメディカル | 4,000円  | 2,000円   |

## 演題募集期間

2022年6月14日(火) ▶ 7月15日(土) 17時

※会長の意向により、締切の延長はいたしませんので、ご注意ください。

## 会長要望演題 (公募)

### 医師部門

- 1 ACS
- 2 Complex PCI
- 3 CTO・分岐部病変・石灰化病変
- 4 Imaging・Physiology (INOCA 含め)
- 5 SHD
- 6 EVT
- 7 合併症・bail out
- 8 その他

### コメディカル部門

- 1 自施設で経験した学びのあった症例の報告、臨床で実施しているちょっとした工夫、チームでの取り組みの他、これから取り組んでいきたい事など

※看護部門・放射線部門・臨床検査／臨床工学部門

## 参加登録期間

2022年9月1日(木) ▶ 10月15日(土) 18時30分

※インターネットからの参加登録のみとなります。お役割のある先生も、事前に参加登録をお願いします。

※感染症予防対策、及び防疫上の理由から、会当日に受付での現金受渡しは行いませんので、必ずインターネットからの登録手続きをお願いします。

## プログラム (予定)

### 10月14日(金)

- ・TOKYO LIVE DEMONSTRATION 2022
- ・Video Live (PCI / EVT / SHD)
- ・Hands-on Live
- ・若手医師向けセッション
- ・コメディカルライブ
- ・ハンズオンセミナー (事前登録制)

### 10月15日(土)

- ・一般演題発表 (YIA 選定含む)
- ・ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナー、ショートレクチャーなど
- ・コメディカル演題発表
- ・コメディカルシンポジウム

## ハンズオンセミナー (事前予約制) のご案内

### 実 施 内 容 ※実技と講義の2部構成です。

#### 実 技

- ・バルーンデフレーション不能
- ・イメージングカテーテル(IVUS等)スタックへの対処
- ・ステント脱落の回収と断裂した IVC カテーテルの回収
- ・子カテと貫通カテの使い方

#### 講 義

- ・Reverse wire
- ・冠動脈穿孔の対処法

ハンズオンセミナー 藤本 善英 (国際医療福祉大学成田病院 / 千葉大学 / 君津中央病院)  
コースディレクター 車谷 容子 (甲府共立病院)、沼澤 洋平 (足利赤十字病院)

開催日時 2022年10月14日(金)  
午前部 9:10~11:40 午後部 12:30~15:00

会 場 大手町サンケイプラザ3階 第4会場

参加資格 医師 (定員: 午前16名、午後16名)  
定員になり次第、募集を終了いたします。

参加費 【会員】12,000円 【非会員】14,000円  
受講料は無料ですが、事前にホームページより2日参加の登録決済を行ってください。  
当日は、受付で配布された入場証を第4会場入り口のスタッフにご確認ください。

受付期間 2022年6月14日(火)~10月7日(金)

※事前予約制・少人数のため、申し込み後にキャンセルが判明した場合は必ず運営事務局に連絡をお願いします。  
※受講受付完了者とキャンセル待ち者は、ホームページにて詳細をご確認ください。

## コメディカルライブの実施について

### 実 施 内 容

東京ライブデモンストレーション 2022、コメディカルライブは東京慈恵会医科大学附属病院と茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 循環器センターからの中継で送ります。詳細は計画中ですが、看護師・診療放射線技師・臨床工学士・臨床検査技師などカテ室に関わる各職種のスタッフが日頃から疑問に思っていること、いまさら聞けない…等の質問などをざっくばらんにディスカッションできるライブを企画しています。医師コメンテータもおりますので臨場的な質問でもお答えできます。皆さま、奮ってご参加ください。

開催日時 2022年10月14日(金) 9:00~18:00

会 場 大手町サンケイプラザ3階 第2会場

参加費 【コメディカル】4,000円  
(14日ライブ・15日CVIT 地方会 2日間共通)

お申込み方法  
(演題・参加・ハンズオン)

各種お申込みは WEB から手続きください

<http://kksecvit.jp/>

## ご挨拶

2020 年から世界を席卷した COVID-19 のパンデミックは収束の兆しが見えてきたが、感染の波と自粛を繰り返し、未だ完全な収束にはいたっていない。さらに、21 世紀のこの時代に、第 3 次世界大戦、核戦争などの物騒な言葉が飛び交うロシアのウクライナ侵攻という驚くべき現実を目の当たりにし、常に平和な日本であっても対岸の火事とはいえない状況である。このような想定外の光景を前に、我々をとりまく環境や生活スタイル、医療は大きく変貌している。

では、心血管インターベンションをとりまく状況はどのようになっているだろうか？ COVID-19 猛威のさなかには待機症例が延期され ACS 症例が主となり、常に感染防御を考慮し full PPE での PCI 治療を余儀なくされた。これは、現在も同様である。そして PCI においても不要不急のもと、入院という敷居そのものが高くなりその適応を考えさせられた。ISCHEMIA 試験の結果、待機的 PCI が多い本邦の現状、Follow up の冠動脈造影検査が class III、冠動脈 CT のあり方、統合的な虚血評価の重要性など、どれも当然かつ重要な事項ではあるが、あらためて冠動脈狭窄を治療するのではなく、患者の病気を診ることの大切さを認識させられた。私が在籍する東京慈恵会医科大学の建学の精神である、学祖高木兼寛の“病気を診ずして病人を診よ”という言葉が重なる。何が一番のゴールデンスタンダードなのか？何を基に治療方針を決定すべきなのか？そして、その評価に成り立つ治療方針として我々は何を患者のために選択するのか？いまさらながらその重要性を考えたい。本学会では、心血管インターベンションにおける様々な検査・治療法のなかで、その病態生理をふまえた総合的な医療を学ぶ会としたい。

第 60 回日本心血管インターベンション治療学会  
関東甲信越地方会  
会長 小川 崇之  
東京慈恵会医科大学附属病院 循環器内科